

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会 活動内容

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会の活動内容は次の通りです。

(1) 「おもてなしの心を世界へ」国民運動にするための企画、立案及び啓蒙活動

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会主催のイベントを次の通り企画します。

開催時期：随時

開催場所：スポーツ施設、区民ホール他

開催内容：日本の伝統的な礼法を継承している各種団体と連携し、次のような各種イベントを開催します。

- ・礼法指導を含めたスポーツイベント
- ・礼法指導を含めた音楽会
- ・日本の伝統的な礼法に関心のある各界著名人によるシンポジウム

(2) 「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会会員の活動に対する官民あげでの支援体制(財政面、運営面他)の企画・立案及び推進

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会会員

●公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト

(理事長：田中日出男)

レガシー共創協議会のプロジェクト「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ®活動」(メンバー：公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト、墨田区、こころの東京革命協会など)をリーダーとして推進。

●こころの東京革命協会

(名誉会長：舛添要一、会長：川淵三郎)

ご支援のお願い

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会の趣旨にご賛同いただける個人・法人の皆様の厚いご支援を賜りたくお願い申し上げます。

<賛助金のお願い>

法人・個人の皆様方から賛助金を募っております。皆様方から寄せられた賛助金は、「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会の印刷物及びホームページ他の啓蒙活動等の費用に活用させていただきます。剰余金が発生した場合は、国民運動協議会の会員の活動資金に均等配分させていただきます。

金額：一口1,000円(何口でも結構です。)

<郵便振替>

お支払い方法：別紙添付の用紙(払込取扱番)または郵便局備え付けの郵便振替払込請求書(青色)

口座名義：「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会

口座番号：00170-2-450881

<銀行振込>

振込先：三菱東京UFJ銀行 高円寺支店

口座名義：おもてなしの心を世界へ国民運動協議会

口座番号：普通預金：0245109

或は、支援先を次の2つからお選び頂き直接お支払い頂いても構いません。



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

	入会金	年会費
個人正会員	30,000円	10,000円
団体(法人)正会員	50,000円	20,000円以上 - 一口20,000円、一口以上
個人賛助会員	0円	1,000円以上 - 一口1,000円、一口以上
団体(法人)賛助会員	0円	10,000円以上 - 一口10,000円、一口以上
個人活動会員	0円	0円
団体(法人)活動会員	0円	0円
個人寄付	0円	1,000円以上 - 一口1,000円、一口以上
団体(法人)寄付	0円	10,000円以上 - 一口10,000円、一口以上

「おもてなしの心を世界へ」スポーツと礼儀で子供は変わる特集号 1部200円
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトの趣旨にご賛同頂ける方は、別紙折込用紙をご参照願います。

個人寄付金は、40%~50%が運付されます。ご寄附には、相続税が課税されません。



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ4階

電話：03-3339-6535 FAX：03-6426-1580

E-mail：office365@mannerkids.or.jp URL：http://www.mannerkids.or.jp/

大人が変われば子供も変わる

こころの東京革命

立ち上がろう！将来を担う子どもたちのために！

正会員(団体)、賛助会員(団体、個人)を募集しております。

詳細は、

協会ホームページ(<http://www.kokoro-tokyo.jp/>)をご覧ください。

こころの東京革命協会の趣旨にご賛同頂ける方は、別紙折込用紙をご参照願います。

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ4階 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト内

電話：03-3339-6535 FAX：03-6426-1580

「おもてなしの心を世界へ」

国民運動協議会

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト

(レガシー共創協議会のプロジェクト)

「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ®活動」を
リーダーとして推進)

こころの東京革命協会

ご支援のお願い



公益社団法人
マナーキッズ®プロジェクト

大人が変われば子供も変わる

こころの東京革命

分かち合い
おもてなし
思いやり
もったいない

「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会 設立の背景・趣旨

近年、全国のあちこちの学校で「いじめによる自殺」「学級崩壊」「小一プロブレム」といった誠に憂慮すべき現象が起こっております。また、中・高校生の中の電車での食事、化粧、路上での地べた座り、社会人になっても挨拶がきちんと出来ない等、マナーの乱れが多く指摘されております。また、食材偽装表示問題等にみられるように企業のモラルも問われております。

我が国は、世界でも有数の経済的成長を成し遂げ、個人の生活も物質的に格段に豊かになりました。一方、心の面では、失ったものも多いのではないのでしょうか。自己中心、我欲といった精神がはびこっていることは否定できません。日本及び日本人が劣化してきたのではないかと憂慮します。

時あたかも東京オリンピック・パラリンピックに向けて、レガシー（遺産）をいかに次世代に継承するかが検討されております。2020東京オリンピック・パラリンピックを機軸として捉え、日本人が本来持っている「おもてなし」「もったいない」「思いやり」「分かち合い」の日本の心を再生しようではありませんか。そのために、公益社団法人マナーキッズプロジェクト（レガシー共創協議会のプロジェクト）『「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ活動』をリーダーとして推進）及びこころの東京革命協会の2団体連携の「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会（ゆるやかなネットワーク）を構築し、国民運動として展開します。

2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に、おもてなしの心を再生させることにより、日本のソフトパワーを世界に発信します。

公益社団法人マナーキッズプロジェクト及びこころの東京革命協会は、スポーツや体験を通じた子供の健全育成他の活動を行っておりますが、「おもてなしの心を世界へ」国民運動協議会を設立し、礼法指導を含めたスポーツイベント等の啓蒙活動他を行い、「おもてなしの心を世界へ」の認知度を高めることにより、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、両運動への参画者を飛躍的に増大させる所存です。

次代を担う子供達が、体幹を鍛え、正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方等を身に付け、再度、世界の人々から尊敬される日が来ることを念じております。

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、
レガシー共創協議会のプロジェクト
『「おもてなしの心を世界へ」ヘルス&マナーコミュニティ活動』を
リーダーとして推進しています。

運動の柱は…



マナーキッズ®教室

園児、児童がスポーツ等を通して日本の伝統的な礼法を体験し、正しい姿勢、お辞儀・挨拶の仕方を体得。



マナーキッズ®体幹遊び

引用：東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもとらす教育的効果の検証～」



「マナーキッズ®」調べ

園児、児童が身につけたい言葉、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確化。

挨拶運動

クリーン作戦

交通マナー向上

資源回収作戦

助け合い、思いやり、顔見知り、いたわり

体力増強運動

健康・体力作り

展開方法

墨田区の中学校区においてモデルをつくり、横展開
杉並区立小中学校においても活動開始

アクションプラン

全幼稚園・保育園、小学校

…… マナーキッズ®教室、マナーキッズ®体幹遊び、「マナーキッズ®」調べ

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団

…… マナーキッズ®スポーツ教室

各種文化活動

…… マナーキッズ®コンサート、マナーキッズ®料理教室 他

テーマ毎の作戦展開事例

「挨拶運動」「クリーン作戦」「交通マナー向上」「資源回収作戦」「体力増強運動・減塩運動」

効果測定

ヘルス&マナーコミュニティ®指標（墨田モデル）

マナー向上、ヘルス・フィットネス増進、コミュニティ活性によってヘルス&マナー・コミュニティの創生されることを確かめる。

<研究委託>

千葉敬愛短期大学 明石 要一 学長
筑波大学大学院人間総合科学研究科 大森 肇 教授
早稲田大学スポーツ科学学術院 木村 和彦 教授

東京都とこころの東京革命協会は、

大人が変われば子供も変わる



こころの東京革命

を推進しています。

「こころの東京革命」とは、親と大人が責任を持ち、次代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人が生きていく上で当然の心得を伝えていこうという取組です。

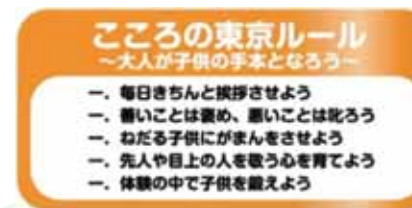
私たち大人は、未来を支えていく子供に、どのような社会にあっても守るべき基本的ルールがあること、社会の一員として役割と責任を果たしていくべきことを自らの行動を通して伝えていかなくてはなりません。

「こころの東京革命スローガン」

2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、「おもてなしのこころ」や「規範意識」の醸成など、これまで以上に「こころの東京革命」の普及啓発を進めていきます。



大人が子供に社会の基本的なルールを伝えていくための標語「こころの東京ルール～大人が子供の手本となろう～」を提案します。



こころの東京革命協会とは

東京都とともに「こころの東京革命」の普及啓発活動を行っています。川淵三郎（日本サッカー協会最高顧問）会長の下、東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツや体験を通じた子供の健全育成と保護者・大人への訴えを中心に、さまざまな活動を行っています。



こころのチャレンジプロジェクト
佐藤真海さん（パラリンピアン）

また、自らの活動を通じ「こころの東京革命」を実践する青少年育成団体等（約140団体）が正会員として加盟し、共に活動しています。



ジュニアサッカーフェスティバル